

令和3年度

# 開拓精神 No. 9



## 小中一貫校交流

11月24日（水）に「小中一貫校交流」が行われました。宮川小と金沢小の6年生が長峰中に来校し、校舎巡りと中学校の授業体験をしました。まず最初は、宮川小と金沢小のみなさんが混じったグループ毎に校舎巡りをしました。長峰中の職員の案内で、中学生が授業をやっている普通教室や特別教室、図書館、パソコン室、体育館等々校舎の中を一通り巡ってみました。あと数ヶ月経つと長峰中の1年生になるということもあり、小学六年生は興味津々に校舎を見て回り、色々な質問もしてくれました。そして、その後は、宮川小と金沢小の生徒が交じってこの日だけの特別クラスをつくり、中学校の授



業体験をしました。教科担任制と中学校の英語の授業を体験してほしいというねらいの下、20分という短い時間でしたが、英語の授業と理科または社会科の授業をそれぞれ経験しました。初めての経験に緊張しながらも前向きに取り組む様子が印象的でした。

最後に集まったときに、「中学校のことが少しは分かりましたか？」という問いかけに、元気に「はい！」と答えてくれたのが印象的でした。限られた時間ではありましたが、新年度に向けて、大切な一日になりました。

## 令和4年度 生徒会三役立会演説会 投票

11月25日（木）に、令和4年度の生徒会正副会長を決める立会演説会と投票が行われました。これまで、2年生の各クラスで候補者をきめ出し、学年内の演説会、教室訪問を行ってきました。そして、いよいよ全校が集まったの立会演説会と投票が行われました。

よい緊張感が漂う中、候補者が自分の目指す生徒会の姿、長峰中学校の姿を堂々と述べ、公約について説明をしていきました。聴いていると誰がなくても、きっとよい生徒会のリーダーとなって全校生徒を引っ張ってくれると思える充実した内容でした。また、演説を聴いている生徒の姿は、大変真剣で、これからの長峰中学校の姿を一人ひとりがしっかりと考える時間となりました。



演説会後の投票も整然と静かな落ち着いた雰囲気の中で行えました。この投票と翌日の決選投票によって、新しい正副会長が決定をしました。そして今後、生徒会の引き継ぎが、最終段階へと進んでいきます。いよいよ、これまで全校を引っ張ってきてくれた3年生からのバトンが2年生へと渡ります。3年生からしっかりと引き継ぐものを引き継ぎ、そして、1・2年生が協力し、自分たちらしい生徒会をこれからつくっていくことを期待しています。全校生徒でがんばっていきましょう。

令和4年度生徒会三役 会長：

男子副会長：

女子副会長

# PTA講演会 腰塚勇人さん 講演会

12月10日(金)には、PTA講演会として、腰塚勇人さんの講演会「命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～」が行われました。

腰塚さんは、「熱血中学校教師」でしたが、スキー場で首に大けがを負い、一生首から下は動かない、よくて車椅子生活と言われた状況から、奇跡の回復をされ、その経験を基に、今では、「命の授業」を日本全国で行っています。自分が奇跡の回復をすることができたのは、自分を支えてくれた多くの「ドリー夢メーカー」がいたからという経験から、生徒のみなさんはもちろん、会場で一緒に聞いていた保護者の方、職員に向けて、「一つしかない自分の命をどう使います？」と熱く語りかけてくださいました。

お聞きすると、腰塚さんは怪我をする前、神奈川県伊勢原市の中学校にお勤めになっていて、その伊勢原市は、今もそうですが茅野市と姉妹提携をしているので、顧問をしていたバスケ部の生徒と共に夏に茅野市に来て、長峰中学校や市内の中学校でバスケットボールの試合をしたことがあるそうです。また、けがをしたのは「車山スキー場」ということもあり、しみじみと「縁を感じます、長峰中

に来て本当によかったです」とおっしゃってくださいました。

腰塚さんの話から生徒はたくさんを感じ、考え、あつと言う間の70分間が過ぎていきました。腰塚さんがおっしゃっていたように、ここからが大切です。感じたこと、考えたことを基に、どう「命を使う」のか、そんなことを毎日の生活の中でも意識していきたいですね。



## 今年度初の読み聞かせ

12月15日(水)に今年度初の読み聞かせを行うことができました。同時に「朝読書見学会」も開催しました。「読み聞かせ」はコロナが落ち着いた頃からは、生徒の期待する声も上がっていましたが、落ち着いてきたとはいえ、油断せず慎重に進めることを第一とし、他の行事との関連も検討しながら、ここで、行うこととなりました。当日は長峰中学校読み聞かせボランティア「長峰丸」のみなさんにご来校いただき、3年生の教室に入っただき、読み聞かせを行っていただきました。また、長峰中職員も、ボランティアさんの入らないクラスに入り、読み聞かせをしました。



ボランティアさんの素晴らしい読み聞かせに引きつけられ、本の世界にしっかりと浸っている生徒の姿がありました。一人でする読書とはまた違う、本の魅力を感じられたのではないのでしょうか。読み聞かせを終えたボランティアのみなさんからは、長峰中生の姿について「集中して聴いてくれた」「落ち着いた雰囲気伝わってきた」とお褒めの言葉をいただきました。次回は1月19日(水)の予定です。お楽しみに！

地域の皆様には、この一年、長峰中学校を陰に陽にお支えいただきました。感謝申し上げます。新年も、何卒、同様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。まだまだコロナも油断できませんし、大分寒さも増して参りました。ご自愛いただき、よいお年をお迎えください。ありがとうございました。

生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立長峰中学校  
〒391-0013 茅野市宮川 11288  
担当 濱 喜一郎(教頭)  
電話 72-4108  
FAX 72-4109